

適性をは握するための問題点の解明に尽くした。

福島県立双葉高等学校

○指定 昭和46年度指定（2年継続、完成年度）

○研究主題

「生徒理解について」

「本校における資料収集とその活用」

○研究概要

客観的理解と自己理解を中心に、資料を収集し、その整理活用についての具体的問題を多面的に究明している。

福島県立飯坂高等学校

○指定 昭和46年度（2年継続、完成年度）

○研究主題 「生徒理解の方法と活用」

○研究概要

診断的、客観的な生徒理解の方法と実施した調査・検査・面接の結果を個人についてまとめる方法的
研究

福島県立西会津高等学校

○指定 昭和47年度（2年継続）

○研究主題 「健全なる集団意識を育成する生徒指導はどのようにしたらよいか」

○研究概要

生徒の集団を多角的に分析し、個人の役割りと位置づけを指導しながら、明るいムードを作りあげる指導を、実践的に究明している。

福島県立塙工業高等学校

○指定 昭和47年度（2年継続）

○研究主題

「交通安全指導の研究」

「ホームルーム活動を主とした生徒指導」

○研究概要

実態調査・事例分析をとおして、問題点をまとめ、生徒や保護者の関心を高めながら、指導の実践的方法の研究を進めようとしている。

福島県立遠野高等学校

○指定 昭和47年度（2年継続）

○研究主題

「本校生の躰の実態と躰教育について」

○研究概要

アンケートや調査をもとに実態をは握し、生徒の自律的な生活習慣や、生活規範を定着させるべくくふう・研究が進められている。

2. 教科指導法研究学校

(1) 目的

本県県立学校生徒の学力向上を図り、各教科の学習指導に関する研究をとおして、現職教育の充実をはかるべく、実践的な研究を委嘱し、この点について深めるよう努力した。

なお、その研究成果を広く県内各校に普及し、生徒の学力向上に資するよう「研究成果」を印刷し、各県立学校に配布した。

(2) 研究期間

昭和47年4月から昭和48年3月までの1年間

(3) 研究学校、教科、科目数

10校、10教科、11科目

(4) 研究主題

「各教科学習指導法の改善」

各学校、各教科（科目）に共通するものとして、上記の主題を設定し、実際の研究にあたっては、指定の目標に沿い、各学校、各教科（科目）の実状に即し、具体的な小テーマを設けて研究した。

(5) 各校の研究教科（科目）および研究テーマ

① 船引高等学校

国語

「漢字指導について」

② 白河高等学校

社会

「授業のたしかめと考査の分析による授業診断について」

③ 小高工業高等学校

数学

「工業高校における応用数学の指導について」

④ 原町高等学校

理科

「思考過程・論理過程に重点をおく指導法の開発」

⑤ 若松女子高等学校

芸術（音楽）

「音楽の授業を現代化するためにAV機材の活用をどうすればよいか」

⑥ 相馬高等学校

芸術（美術）

「芸術・美術学習におけるグループ制作活動の助長」

⑦ 相馬農業高等学校

外国語（英語）

「本校における英語教育のあり方」

⑧ 東白川農業高等学校

農業

「農業実習指導法の改善」

⑨ 二本松工業高等学校

工業

「電気実習・電子実習の指導法の改善」

⑩ 喜多方商業高等学校

商業

「電子計算機一般」の学習指導について

⑪ 勿来高等学校

家庭

「実践につながる効果的な学習指導」

“食品と選択の指導をとおして”

3. 進路指導研究学校

(1) 目的

生徒の適性、能力を的確には握し、進路の選択能力を養うための実践的研究を行ない、高等学校における進路指導の充実向上を期する。